塚田こども医院
ヘルス・レター

予防接種の受け方

ワクチンは子どもたちを感染症から守るためにとても大切なものです。子どもたちの健康づくりのために、ぜひワクチン接種を受けて下さい。

生後２か月が「ワクチンデビュー」。多くのワクチンがありますが、順に受けていって下さい。

時々母子手帳を開いて、受け忘れたワクチンがないか確認することも大切ですね。

塚田こども医院

世界の子どもにワクチンを
日本委員会

一口メモ

他のワクチンとの間隔

2020 年 10 月より、種類の違うワクチンを受ける際の間隔についての制限が大幅に緩和されました。

注射生ワクチン同士では効果が減弱することがあるため**４週間（中 27 日）以上あける**ことになっていますが、これは変更がありません。

その他の場合は接種間隔について、制限はすべてなくなりました。例えば不活化ワクチン、経口生ワクチン接種後に日数をおかず、他のワクチンの接種を受けることができます。注射生ワクチン接種後についても、不活化ワクチンと経口生ワクチンであれば制限はありません。

【参考】

〇注射生ワクチン：ＢＣＧ、麻疹・風疹混合、おたふくかぜ、水痘など

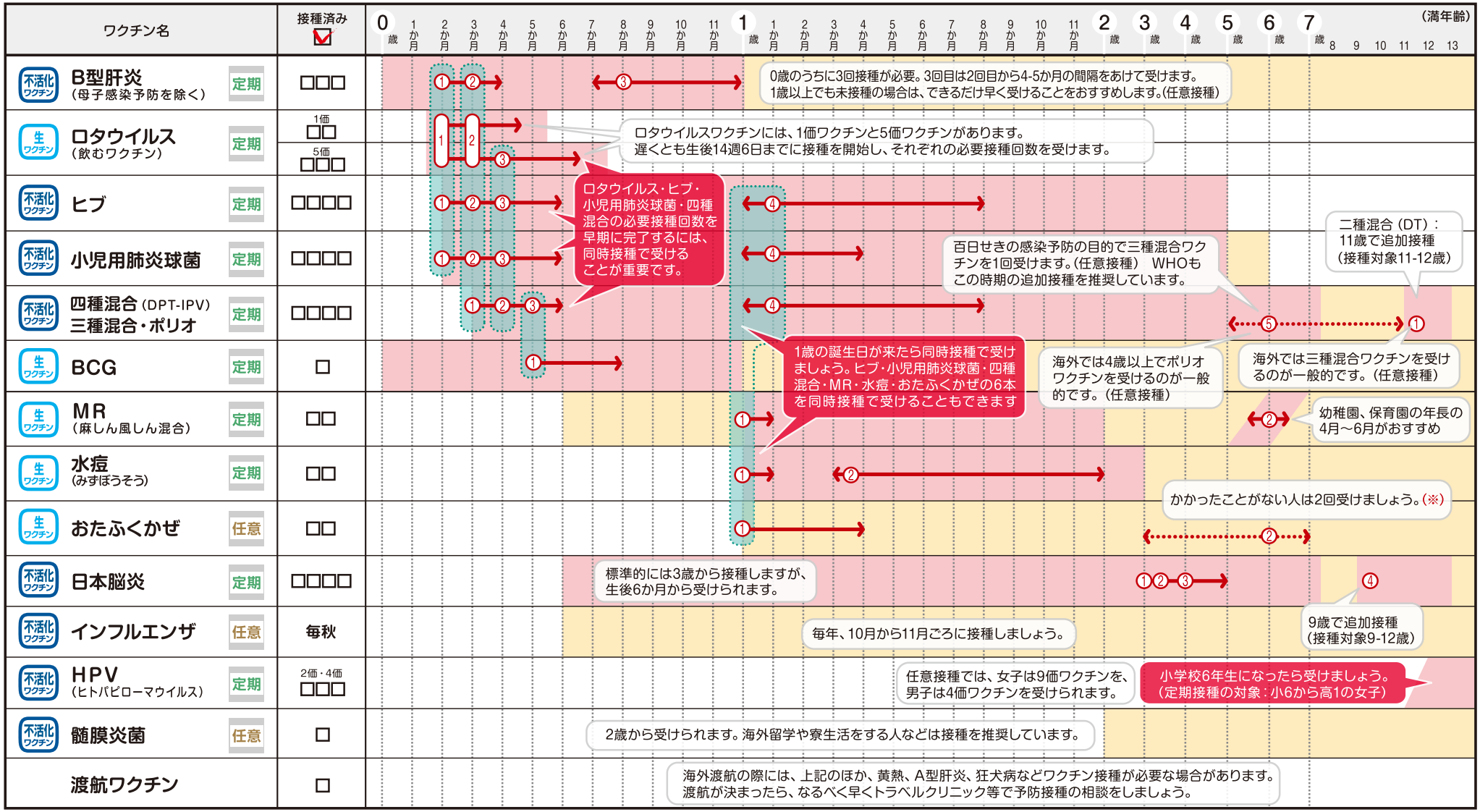
〇経口生ワクチン：ロタウイルス

〇不活化ワクチン：ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、日本脳炎、インフルエンザ、Ｂ型肝炎など

2022年4月版

予防接種スケジュール

大切な子どもをVPD（ワクチンで防げる病気）から守るためには、接種できる時期になったらできるだけベストのタイミングで、忘れずに予防接種を受けることが重要です。このスケジュールはNPO法人 VPDを知って、子どもを守ろうの会によるもっとも早期に免疫をつけるための提案です。お子さまの予防接種に関しては、地域ごとの接種方法やVPDの流行状況に応じて、かかりつけ医と相談のうえスケジュールを立てましょう。



不活化ワクチン 不活化ワクチン　定期 定められた期間内で受ける場合は原則として無料（公費負担）。

生ワクチン 生ワクチン　任意 多くは有料（自己負担）。自治体によっては公費助成があります。任意接種ワクチンの必要性は定期接種ワクチンと変わりません。

同時接種: 同時に複数のワクチンを接種することができます。安全性は単独でワクチンを接種した場合と変わりません。国や日本小児科学会も乳幼児の接種部位として太もも（大腿前外側部）も推奨しています。詳しくはかかりつけ医にご相談ください。

定期予防接種の対象年齢

任意接種の接種できる年齢

おすすめ接種時期（数字は接種回数）

添付文書に記載のないおすすめ接種時期

（※）添付文書に記載はないが、接種を推奨

●異なる種類の注射の生ワクチン同士の接種間隔は最短で4週間です（4週間後の同じ曜日から接種可）。

詳しい情報は https://www.know-vpd.jp/ VPD 検索

2022年2月作成

© NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会